

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
評価実施期間	2011年6月24日 ～ 2012年2月15日 実地訪問調査日 — 2段階調査確認 第2段階 2012年1月27日(金) 現場の保育サービスを中心に確認 第1段階 2011年11月9日(水) 評価基準を中心に確認
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩 (リーダー) HF06-1-0019 山田 奈津美 (メンバー) HF10-1-0002 加藤 文雄 (報告書査読)

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 三田こぼと保育園	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 高橋 春男 園長	開設年： 1957年9月1日
経 営 主 体： (宗教法人) 日本基督教団摂津三田教会	定 員： 60名
所 在 地：〒 669-1532 三田市屋敷町7-25	
電話番号： 079(562)4059	FAX番号： 079(562)4093
メールアドレス sandakobato@theia.ocn.ne.jp	ホームページアドレス http://sandachurch.pl.bindsite.jp/kobato.html

保 育 園 外 観



保育の理念

信頼され期待される保育園であるために、キリスト教保育の考え方に基づいて「あそび」「自由」「自律(立性)」「ありのまま」を大切にし、すべてのことに感謝し、隣人を大事にする保育を行っています。

職員は、子どもと同じ目線で接し、同じ時間を共有・共感しようと努めながら保育に携わっています。乳幼児期から就学前までの長期に渡り、日常生活の大半を占める保育園での生活において、心身のすこやかな成長と、子どもたちと保護者の皆さまとの深く強い信頼関係を築くことができるような援助を心がけていきます。

子どもも大人もみんな異なった個性と人格を持っています。一人ひとりの子どもが持っているものをしっかり受け止め、それぞれの育って行こうとする力を信じて援助し、個々の発達を実現する保育を行う中でお互いに育ちあうことが大切と考えています。そして、すべての子ども、保護者、職員、教会が協働し、思いをひとつにすることを目指して、「共に生き、共に成長する」ことを目標とします。

保育の基本方針

「遊び」を大切にする。

子どもの仕事はあそびです。あそぶことによって想像力(イマジネーション)を豊かにし、文化を創造(クリエイション)する者へと成長します。当園では、子どもたちが伸び伸びとあそべるように保育をすすめます。

「自由(主体性を尊重)であること」

日常生活での約束や秩序(ルール)は大事ですが、外側からの強制によるおしつけではなく、自由な主体性(人間そのもの)の中から得ていかなければなりません。そのために保育は「自由保育」を基本としています。

「自律(立)性」の獲得を目指します。

子どもの心身の発達に即しながら、子どもたちが一人の人間として独り立ちできるように配慮します。又、子どもたちが自律(立)するために十分な可能性を秘めていることを信頼して保育をすすめます。

子どもを「ありのまま」に受け入れます。

子どもの入園の条件は何もありません。ありのままの子どもたちをそのまま受け入れます。マイナス面よりもプラス面を見つけ出す保育を進めます。

以上をふまえて

1. 時代の中で果たすべき三田こぼと保育園の役割を常に考えつつ歩みます。
2. よい環境の中で「ひとりひとりを大切にする」保育を目指します。
3. 子どもを一個の人格として尊重し、常に子どもの「最善の利益」が守られるよう配慮します。
4. 子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培います。
5. 保護者の子育て支援の為の役割を積極的に果たします。

4 特に力を入れて取り組んでいる点

- ① キリスト教保育を通して、一人ひとりの子どもを尊重し、大切にしています。
少人数で、家庭的な雰囲気・環境の中で、子ども同士の関わりも深く、職員も全ての子どもを
を理解し、丁寧に関わっています。
- ② 決まった保育士が関わることにより、一人ひとりの発達に応じた援助が丁寧に行えるように、乳
児組（0歳児：8か月～2歳児）では、担当制保育を取り入れています。それにより、子どもた
ちが不安なく、安心して過ごせます。
- ③ 給食・おやつは手作りで、安心・安全な（出来る限り地産地消にこだわった）食材を使っていま
す。また、アレルギー食や離乳食など、保護者と連携し、一人ひとりに合った食材を使い提供し
ています。
- ④ 畑やプランターでの野菜栽培（玉ねぎ・じゃがいも・えんどう豆・なす・キュウリ・とうもろこ
し・ゴーヤ・かぼちゃ・ピーマン・さつまいも・ラディッシュ・トマト・大根など）や園庭のぶ
どうやサクラノボの収穫、それらを使ってのクッキング保育などを食育の一つとして取り入れ、
その中で、世話をする大変さや喜びを経験し感じるとともに、感謝する心も育てています。
- ⑤ 散歩に行ったり、こぼと原っぱ（保育園隣の借地）で遊んだり、自然との関わりを多く取り
入れています。遊具の無い原っぱでは、自然に触れ、体を動かし、想像力をはたらかせ、友だち
と遊びを考え楽しむことができます。
- ⑥ 色々な年齢の友達と交わることにより、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを受け入れたり
する中で優しさやおもいやりの気持ちを、難しいことにも挑戦しようとする意欲が高められて向
上し共に育つように、3～5歳児の異年齢児保育（こぼとっこ）や土曜保育・朝夕の自由保育を
取り入れています。
- ⑦ トライやるウイークでの中学生やふれあい保育体験・保育体験学習での高校生（ペープサートや
劇・歌・創作絵本の読み聞かせなど）、保育実習生、教会の人、ボランティアの人とのふれあい
をもつことにより、多様な人たちと親しむことができます。
- ⑧ 園庭解放や地域子育てステーション（あいあい広場）で、地域の子育て支援を行っています。焼
き芋・人形劇・腹話術・交通安全指導・お餅つき・移動動物園・プール遊び・夏まつり・絵本の
読み聞かせ・体育あそび・制作あそびをしたり、園児との関わりをもつ時もあります。
- ⑨ 随時、絵本の貸し出しをしています。数多くの絵本に出会うことにより情緒が安定し、ことばや
感情、イメージが豊かに育ちます。
- ⑩ 園庭には小さいながらも日よけ付のプールがあります。園庭にも夏には寒冷紗で日陰を作り、快
適に遊べる工夫をしています。また、砂場の上部にはぶどう棚があり、夏の日差しから子どもた
ちを守るだけでなく、毎年たくさんの収穫があり、給食のデザートとして、おやつとして味わっ
ています。
- ⑪ 卒園時には、保護者の方のご協力のもと文集を作成しています。卒園アルバムも、全職員で一人
ひとりの子どもに“世界に一冊しかない”手作りアルバムを作っています。

5 園児の状況に関する事項（平成24年1月1日現在）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
6名	12名	12名	15名
4歳児	5歳児	—	合計
15名	13名	—	73名

6 職員の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

	総数	園長	主任	副主任	保育士
常勤	15名	1名	1名	1名	10名
非常勤	6名	—	—	—	4名
	事務員	調理師			
常勤	1名	1名			
非常勤	—	2名			

7 ボランティアの受け入れ

平成23年度 ボランティアの受け入れ人数(延べ人数) 210人

ボランティアの業務 園内の清掃・洗濯・保育補助(遠足・お正月あそび)

8. 実習生の受け入れ

平成23年度 実習生の受け入れ人数 保育士 7人 (大学生 4人、短大 2人、専門学校 1人)

9 サービス利用者からの意見等の聴取について

なんでも直接言っていただけるような雰囲気作り等の心配りはしているつもりですが、それ以外に、主な行事の時には、アンケートを配布しご意見を伺い、改善につなげています。また、今回よりご意見箱を設置し、意見・要望等を投函いただけるように設置しました。

10 評価結果 **きみがすきだ、きみはだいじ、きみといくよ**
ひとりひとりを大事にする保育
仲間意識を育てる保育

総 評

☆☆☆ 特に評価の高い点 ☆☆☆

- 1) 食育等の取り組みに力を入れています。立体構造の園内掲示物 ([三田の食育フェスティバル 平成23年11月27日出品](#))、及び 動植物の飼育・栽培を通して、子どもの好奇心を刺激する創意工夫がされています。手作りの[こぼと水族館](#) (熱帯魚の水槽・仕掛けの見えるオーバーフロー外部フィルター)、移動動物園 (牛・馬・ロバ・山羊・豚やニワトリ・ウサギ・モルモット等が保育園にやって来る。) の開催等、

お知らせや作品を平面で掲示することはよくありますが、そこに一工夫を行い、こぼと原っぱの畑で育て収穫した作物や、魚の立体製作をして園内掲示されていました。子どもの感性を刺激し、ものの見方を育て、観察力を豊かにする、大変意味のある取り組みだと思えます。

- 2) クラス懇談会において、保護者が普段目にする事が出来ない保育内容をビデオ参観として見せたり、年長さんのお別れ遠足 (羽東山登山 2011年3月3日実施) 時の記録動画をおさめたDVDを卒園記念に年長さん全家庭に配布し、保護者より喜んでいただけた点

保護者にとっては子どもたちの日常のいろんなことが大事な成長のしるしです。保護者が一緒にいない時間に子どもたちが何をしているのか、大変気になります。ビデオ参観や遠足時の子どもの様子を撮影した動画は大変気が利いており、保護者から大変喜ばれたことと思えます。今後も保護者のニーズをとらえたすばらしい企画を実施されることを期待します。

- 3) 保護者アンケート (2011年11月実施-園児73人、総家庭数59家族、回収57件、回収率96.6%) でいただいた様々な声全てを、真摯に受け止め、スピーディに対応し、誠実に改善を実施している点

2012年1月27日に各家庭に配布された、第三者評価保護者アンケートについての内容を確認しました。保護者からの意見要望に対して、十分配慮された対応がなされていました。

～ 未来に期待して ～

- ① 園長は、経営、福祉分野に通じた感性のすばらしい方です。現状は、経営・管理業務に集中し、保育サービスの内容に関することはベテラン保育士の主任・副主任を中心とした保育士の裁量に任せています。これは専門職である保育士の専門性を発揮しやすく、保育士一人ひとりが自分の仕事に責任を持って対応できるようになるといったメリットがあります。そこからさらに飛躍して、現場のやる気を引き出すために、ぜひ園長は保育サービスに対する裁量は与えつつも、しっかり現場で目配りをしてください。園長が現場でどんなサービスが提供されているのかを見守る事は、保育士のモチベーション・アップにつながります。
- ② 同園は創立54年が経ち、三田市で最も歴史のある保育園です。伝統と革新、この2つを合わせ持つことは容易ではありませんが、今後も進化を続ける事を期待します。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価受審は、今まで最善を尽くして保育を進めてきたという想いを、今一度見直す良い機会となりました。初めに評価事業所より丁寧な説明をいただいたので、安心して受審することができました。時間をかけて、ひとつひとつの評価項目を検討することで、こぼと保育園に足りないところが認識でき、必要な内容が文書化されていない点も改善することができました。保護者アンケートを行うことにより、保護者の皆さまの思いを知り、改善に役立てることができ、受審して良かったと感じています。

- 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)
- 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。		
I-1-(1)-①	理念を明文化している。	a
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

園の玄関入り口に掲示、ホームページ、業務マニュアルに記載し、いつも目に触れる状態になっており、職員会議で周知徹底している。1/27（金）訪問調査当日、数名の職員にヒアリングし、理念・方針・目標の理解度を検証、確認しました。

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。		
I-2-(1)-①	中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。		
I-2-(2)-①	計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-②	計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

作成された「事業計画」より目標、展望、職員体制、設備、人材育成等が読み取れました。(2011年 保育室ドアの改修・雲梯（うんてい）設置・こぼと原っぱ畑の拡張が実施されています)

職員には、職員会議等で周知しており、保護者には、肩の凝らない読みやすい書き方で、園長だより等でお知らせしています。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

「業務マニュアル」、「職務分担表」、[ホームページ](#)等に役割と責任が記載してあり、児童福祉法、児童福祉法施行令、社会福祉法、個人情報保護法、消防法等を遵守すべき法令に特定し、いつでも参照できるようになっています。

また、訪問調査当日1/27（金）主任・副主任に法令の理解度を確認しました。

園長は、質の向上、経営や業務の効率化、改善に卓越した手腕を持っており、キリスト教保育“伝統と革新”の絶妙なバランスを日夜模索・奮闘しています。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等を実施している。	a

特記事項

『全国私立保育園連盟』、『兵庫県保育協会』、『キリスト教保育所同盟』の3団体に加入し、毎月実施される三田市内園長会やキリスト教保育所同盟園長会等に出席し、経営環境を把握しています。また、3カ月毎に実施される法人の保育園運営委員会、年度末に経理の専門家により監査を受けています。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制を整備している。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
Ⅱ-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

特記事項

求める人材像等は「業務マニュアル」に記載しており、「DO-CAPシート」を使用した人事考課を行っており、8月に就業意志確認、2月に人事考課面接を実施しています。職員の就業状況は、「休暇欠勤等処理簿」にて園長が毎月確認しています。

「職員研修計画書」、「外部研修計画書」、「園外研修（年間計画書）」、「保育士部会日程表」を確認し、極めて活発に職員教育を行っている事を確認しました。

平成23年度の実習生は、主任を窓口とし、保育専門学校・大学等の学生7人を受け入れています。

II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

「危機管理マニュアル」、「ヒヤリハット記録票」（10/27、11/14、12/8付け）を確認し、玄関入り口前の頭上のトラマーク・テープによる注意喚起や雲梯支柱の角に取り付けられたケガ防止用コーナーガードを確認しました。また、玄関には電気鍵が設置されており、メディアを通じて研究した他社事例の記録や、「安全管理リスト」を確認しました。

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。	
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携を適切に行っている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

法人が教会を運営している事、54年に及ぶ長年の保育園の運営実績から、地域とのかかわりは極めて密接で、近隣のボランティア（約210名/年）が日程計画を立てて、園内の清掃・洗濯・保育補助（遠足・お正月あそび）等を援助しています。園庭開放は毎週月曜日と水曜日行われており、11/18（金）に実施した移動動物園は、羊、牛、ロバ、うさぎ等が保育園にやって来て子どもと園庭で遊びました。（近隣の子育て家庭も参加できる、年中行事の1つです）

また、「主に利用している病院リスト」、「さんだ・こどもの医療機関マップ」、「子ども遊マップ」等を配布し、保護者から喜ばれています。

評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
III-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
III-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
III-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
III-1-(2)-①利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
III-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
III-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
III-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

キリスト教精神に基づき『一人ひとりの人間を大事にする保育』を実践しており、「あそび」、「自由」、「自律（立）性」、「ありのまま」を大切にし、日常の保育の様々な場面で意識されています。

毎週金曜日の朝に教会で実施される「みんなの礼拝」では、牧師の聖話があり讃美歌を歌っています。（訪問調査日、私たち2名の調査者はその様子を拝見し、その場で全ての園児の前で自己紹介を行いました）

今回、評価機関のルールに沿って保護者アンケート（時期 11月）を実施、（園児 73人、総家庭数 59家庭、アンケート回収 57件、回収率 96.6%）保護者の高い満足度を示していました。（別添 アンケート結果参照）

当日のみんなの礼拝で歌われていた歌詞

～ 1月のこども讃美歌 きみがすきだって ～ （一部抜粋）

きみが好きだって 誰かぼくに 言ってくれたら ソラ 元気になる

きみは大事って 誰かぼくに 言ってくれたら チョット 度胸がつく

きみと行くよって 誰かぼくに 言ってくれたら ホラ その気になる

今月の聖書	みんなの礼拝	ぶどうの木
		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

「業務マニュアル」、「個人情報保護規定」、「保育計画」、「指導計画」、「保育日誌」、「個人経過記録」等を確認し、一人ひとりのこどもを大事にされているマニュアル、保育記録を確認しました。また、職員会議で、日々の保育実践や保護者支援など、園全体の保育を横断的に検討することにより、保育の質の向上に向けて積極的な取り組みがなされています。「指導計画」等は、保育士の自己評価、主任・副主任の評価等を翌月の保育に生かしています。玄関の入り口には、園児・職員全ての出欠を確認できる名札掲示板、事務室のホワイトボードには連絡事項、園長、事務職よりの連絡事項等、職員全員で情報をひと目で共有出来る工夫がなされています。また、引継ノートを利用して、職員間の周知が図られています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

保育園生活の内容は、入園説明会に「入園のしおり」を配付・説明し、園内掲示、外壁への張り紙、市役所での配布等、情報は十分に提供しています。

園長自ら更新するホームページの[こぼと保育園探検](#)（園のすみずみまで案内）、[Staff紹介](#)（顔写真入り）、[園歌](#)（メロディが流れる）のページは、他の保育園ではまず見ることの出来ない透明性の高い内容です。

また、「就学サポートシート」、「転園・退園・卒園される保護者への手紙」も確認しました。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

「保育計画」、「指導計画」、「児童表」、「保育日誌」、「個人経過記録」、「連絡ノート（乳児）」、「連絡ボード（幼児）」にて、一人ひとりの子どもの発達状況を確認しました。また、「乳児クラス」、「幼児クラス」毎の会議を実施し、決定事項は職員会議で周知しています。

訪問評価当日1/27（金）午前中、評価員は、①0～1才・つくし組 ②2才・たんぽぽ組 ③こぼとっこ（異年齢保育） ④4才・ばら組 の4つのクラスで実施されている保育サービスの実施状況を弊社の「保育サービス・チェックリスト」に沿って確認しました。

<p>全景</p> 	<p>原っぱの野菜</p> 	<p>園庭の寒冷紗</p> 
<p>玄関ホール</p> 	<p>絵本貸出コーナー</p> 	<p>園庭の木製うんてい</p> 
<p>保育室</p> 	<p>子育てひろばの看板</p> 	<p>乳児用トイレ</p> 

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようとしている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑪ チャレンジド保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

健康診断や歯科健診の結果を保護者に伝え、その記録も適切に管理しています。

「季節の味」「素材の味」「手作りの味」を生かした献立を作成し、落ち着いた雰囲気の中で楽しく食事ができる環境が整備されており、家庭との連携も図っています。保育士のかかわりは受容的であり、子ども一人ひとりの状況に応じて柔軟に対応しています。身近な動植物に接する機会を設け、子どもの好奇心を育てる工夫が随所に見られます。【 事務所前に吊り下げられている男性保育士製作の魚の被り物、園長製作の手作り [こぼと水族館](#) (熱帯魚の水槽・仕掛けの見えるキャビネット収納式外部フィルター) [三田の食育フェスティバル](#) 平成23年11月27日出品した立体構造の野菜、園庭でのぶどうの生育・収穫等 】

食育の展示 (三田食育フェスティバル出品)



人気メニュー



こぼと水族館



にじうおくんの被り物



IV-2 子育て支援

	第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	該当なし

特記事項

<p>「個人懇談会」、「クラス懇談会」、「運動会」、「遠足」等で保護者より直接、こどもの家庭での状況を聞く場を設けています。年長さんのお別れ遠足（羽束山登山 2011年3月3日実施）時の記録動画をおさめたDVDを卒園記念として年長さん全家庭に配布し、保護者より喜ばれました。</p> <p>「児童虐待防止ガイド」、「早期発見対応ブック」等により、園内研修を実施し、職員間で情報交換する体制を整備しています。</p>

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

「業務マニュアル-危機管理」「衛生管理チェックリスト」、「安全管理チェックリスト」、「避難訓練の記録-2011.10/12実施」、給食室、外構、門扉、園庭等を確認しました。また、「不審者が出たときの対応」、「電話での対応」及び『さすまた』を確認しました。防犯セキュリティ面では、ドアホンの画像の写り具合、県警ホットラインの設置を確認しました。